

社会福祉法人池上長寿園 大田区若年性認知症支援相談窓口

<取り組みの経緯>

2020年7月 法人内の大田区立下丸子高齢者在宅サービスセンターに、若年性認知症デイサービスHOPEを開設

10月 大田区の委託を受け「若年性認知症支援相談窓口」を大田区立特別養護老人ホームたまがわ内に開設し、“大田区若年性認知症支援コーディネーター”を配置

2021年1月 大田区若年性認知症家族会「ハーモニー」設立

5月 当事者が集い“本人ミーティング”を行うための「本人会harmony」設立。同時に、家族だけが交流する「家族会ハーモニー」も活動開始

2022年6月 区内の公園管理を行う「大田区ふれあいパーク活動」に、当事者メンバーで「池上長寿園ota-harmony」として団体登録。鶉の木二丁目児童公園の花壇づくり、清掃、公園マナー啓発活動、季節イベント、遊具などの点検などを行っています

2022年4月 オンライン予約相談開始
その他、各種研修やセミナーなど地域向けの普及啓発活動を行っています

<プロフィール>

大田区受託事業の「若年性認知症専門デイサービス」や「若年性認知症支援相談窓口」をはじめ、「家族会」「本人会」ほかを本人や家族と一緒に創り上げ、包括的支援の実現に向けて努めてきました。内外の関係機関とのネットワークを大切に「広域支援」の実践や合同研修の開催など、アクティブな活動を展開しています。

相談者一人ひとりの可能性を大切にした支援に努めています。

—相談窓口の主な活動—

- 物忘れなどケアに関するサポート
- 医療機関との連携方法。専門医の紹介
- 各種社会保障制度の案内
- 職場との調整や就労についての相談
- 家族会、集いの場などの情報提供

代表：堀端秀和（管理者）

146-0092 大田区下丸子 4-23-1

電話：03-6459-8591

e-mail：jakunen.ota@ikegami.or.jp

hp：https://www.ikegami.or.jp/

<主な活動>

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 若年性認知症デイサービス HOPE | <input type="checkbox"/> 池上長寿園 ota-harmony |
| <input type="checkbox"/> 若年性認知症支援相談窓口 | <input type="checkbox"/> 啓発活動 |
| <input type="checkbox"/> 家族会ハーモニー | <input type="checkbox"/> 本人・家族講演 |
| <input type="checkbox"/> 本人会 harmony | <input type="checkbox"/> メディア |

大田区若年性認知症支援相談窓口（以下、相談窓口）は、全国では珍しい区独自の相談制度で、2020年10月に大田区立特別養護老人ホームたまがわ内に開設しました。大田区若年性認知症支援コーディネーターを2名配置し、医療、就労、社会保障、福祉サービス、社会活動、家族会等、相談者やその家族にまで支援を行っています。また地域包括支援センターと隣接していることから、世代を問わずワンストップで受け付けできる環境にあり、介護保険等の相談にもスピーディーに対応しています。

池上長寿園は「たくさんの希望の種をまき、利用される方とともに希望の種を育て、キラキラな希望の実がどんどん育っていく」をコンセプトに、次の3本柱の事業を展開しています

▼若年性認知症デイサービス

▼相談窓口

▼家族会

相談者や支援者とともに「きずなの輪」を広げ創出しながら活動しています。



活動の記録

[若年性認知症デイサービスHOPE]

介護保険の認知症対応型通所介護事業で、1日3名、週4日の営業です。敷地内の庭園で小松菜、じゃがいも、ラディッシュ、ミニトマト、茄子など野菜を栽培。昼食はメンバー同士で話し合いながら献立を決めて、買い出しから調理まで行います。マンツーマンのスタッフ配置をしており、交通機関を使った外出支援や地域での活動を中心に「やりたいこと」が実現できるよう支援しています。

就労的支援として、区内の大学で清掃活動を行う有償ボランティアも行っています。今後は臨床美術など、一人ひとりの「できること」がより検証できる仕組みづくりに取り組み、「HOPEで生活が楽しくなった」という声をもっと聞けるようがんばっていきます。



買い出しから調理まで、自分たちで

[有償ボランティア]

2021年より区内の大学で毎月、清掃活動を行っています。暖かい季節は「草むしり」などの除草作業、寒い季節は「落ち葉拾い」など、キャンパス内の四季を感じながら自分のペースで活動しています。大学教員との交流や談笑も楽しいです。終了時にはクオカードが手渡されます。



有償ボランティア 大学構内の清掃作業

[若年性認知症支援相談窓口]

一人ひとりの可能性を大切にした“伴走支援”を行っています。2021年度の相談件数は約1,200件。関係機関と連携を図りながら「窓口に来て本当に良かった」と感じてもらえるよう努めています。家族会・本人会の事務局でもあるため、区外の家族会・本人会とのコーディネートや合同イベントなども企画しています。



[家族会ハーモニー]

2021年に活動開始。スタート時は当事者も一緒に参加していましたが、5月からは「本人会 harmony」ができたため、家族だけの会として独立しました。現在の会員数は19名。毎月第3土曜日に開催しています。新型コロナウイルスによる感染状況に対応し、2022年からはオンラインでの開催も行っています。



[本人会harmony]

2021年5月設立。会員数13名(22年秋)。毎月第3土曜日に開催しています。「挑戦したいこと」「行きたいところ」などを実現するための話し合いや近況など情報交換しています。午前中に「池上長寿園 ota-harmony」の公園活動があるため、「ランチミーティング」はわいわい楽しいひとときになっています。



[池上長寿園ota-harmony]

2022年6月から開始した当事者による自主活動。大田区ふれあいパーク活動に団体登録し、月2回、鵜の木二丁目児童公園の清掃活動や花壇づくり、遊具の点検、公園マナーの啓発活動など「できる人ができること」をやっています。チーム社会貢献なので、メンバーで楽しみながら活動しています。



鵜の木二丁目児童公園で

[啓発活動]

若年性認知症に関する区民向けセミナーや教育機関での講座や研修等、幅広く行っています。2022年度からは区内で実施する認知症サポーター養成講座にも参加し、高齢者と異なる若年層の症状や相談窓口の広報などを行い、「いつもと違う」と思った時にいつでも連絡ができる場所があることをお伝えしています。



[本人・家族講演]

若年性認知症本人の生の声を一人でも多くの人に聞いてもらおうと、大学での講演や学生との交流を行っています。

家族のメッセージも伝えているので、受講者からは「自分は何ができるのかを考えるきっかけになった」などの反応があります。認知症への偏見をなくす社会づくり、笑いを交えながらの意見交換の場となっています。



大学での講義



大学生との交流

[メディア]

厚生労働省の認知症普及啓発事業「希望の道」に希望大使とともに出演しました。毎年9月の世界アルツハイマー月間など認知症啓発イベントにも参加。認知症の理解への活動を行っています。



harmonyのイラスト

このイラストは当事者であるかおるさんが描いたものです。

イラストのお仕事を長くされていましたが、認知症発症後は、描くことへの戸惑いなどもあったようです。しかし、本人会ミーティングで「かおるさんにharmonyのイラストを描いてもらいたい」という仲間からの後押しもあり、久しぶりに描いたのが「harmony」のイラストでした。

かおるさんは「描き出すまでに勇気が必要でしたが、時間はかかったけど描き上げました!」と最高の笑顔を見せてくれました。そんな思いがたくさん詰まった最高の一枚です。

